

H20年度学校教育自己診断 保護者質問に対する回答

学校教育自己診断（H20年12月実施）では、保護者の皆様から多くの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。生徒・教職員に実施しました自己診断結果と共に研修会を開き、課題点の改善に努めております。つきましては、年度途中ではありますが、頂きましたご質問に関して、現状及び取り組み状況をご報告させていただきます。今後とも保護者の皆様のご意見を真摯に受け止め、期待される産業高校となりますよう教職員一同、努力していきたいと思っておりますので、ご協力とご理解をお願いいたします。

（H19年度と同じ質問が寄せられましたので、2、3年生の保護者の皆様には昨年度と一部同じ回答が記載されています事をご了承ください）

Q1. 部活動でクーラーが使用できないのはなぜですか。

A1. 現在保護者より徴収している空調費は1500円（府立高校は5400円）です。6月から9月（夏期休業を除く）の普通教室のクーラー使用時間から見積もり生徒数で割った金額です。使用は原則として授業時間に限り、検定と補習、保護者会等での使用は例外として認めていますが、部活動での使用は認めていません。業者との契約は設定温度が27度で予想使用時間を基に計算されており、今以上の使用時間になりますと9月途中で使用できなくなる可能性がでてきます。保護者の皆様にこれ以上負担は求められません。また、保護者の皆様から徴収している空調費ですので一部の部活動使用は不公平が出るというのも理由の一つです。なお、情報処理室のエアコンは室温上昇によるコンピュータの故障防止のために使用しており、情報処理室等の空調費は市予算から支出しているもので保護者負担の普通教室とは別メーター・別会計になっています。

Q2. トイレが汚いので改修してほしいです。

A2. トイレに関しては、毎年ご意見を頂いており、学校としても岸和田市に改修を要望していますが、財政難ということで見送られています。校内で対処できること（ドアの改修やペンキ塗り）は校務員が行っています。清掃等で少しでも清潔にしていきたいと思っております。

Q3. 進学者への取り組みを早期より行って欲しい。

A3. 今年度より2・3年生希望者対象7時間目授業としての「英語演習」がスタートしています。この授業は英語検定1級取得により、進学先の選択肢が広がることを目的にしています。また、系統立てたキャリア教育の一環として、今年は教育実習生との懇談会や7月に1年の進路説明会を実施するなど、自身の適性・進路を考える機会を増やす取り組みも始まっています。また、入試科目の補講は受験校の決まる3年生より実施していますが、進学先は多岐に渡るため、個々の相談に関しては進路指導部・関係教科担当・担任を中心としてサポートしていきたいと考えています。

Q 4 . 頭髪検査の基準がわかりにくいのです。

A 4 . 頭髪に関しては、元に戻すまで呼び出し指導をしています。頭髪の状態がひどい場合は一度家に帰し、改善した後再度登校という指導もしています。頭髪検査の規定ですが、パーマ・カール・編み込み・染毛など頭髪の加工は一切認められていません。染毛の後、黒染めしてなおしてきた後で色落ちした場合、または黒染めしても不十分であれば再度黒染め指導をしています。ヘヤーアイロン等の加熱による変色も、状態により指導の対象となります。生活指導部では学年ごとに頭髪指導の担当者を決め、統一した基準で頭髪をチェックをしています。指導基準に関しては、常に生活指導部内で会議をもって確認しています。

Q 5 . 濃い化粧をしている生徒が目立ちます。指導が甘いではありませんか？

A 5 . 生徒の中には本校の指導が厳しすぎると言う意見がある一方、服装の乱れや化粧に対してきちんとしていこうという声も上げられていました。また保護者の皆さんからも、濃い化粧や服装の乱れに対するご指摘が多く寄せられましたので、「学校には化粧をして来ない」という指導を4月より行ないました。結果、現在のところ昨年度の状況より随分改善されております。今後とも身だしなみに関しては全職員があらゆる場面で声を掛け、指導していきたいと思っています。

Q 6 . 成績が悪い生徒にもっと追試や補習をしてもらえないでしょうか。

A 6 . 現在の本校の規定では、進級認定会議で進級が決まった生徒で欠点のある生徒に追指導及び追試験を行い、合格点を取れば単位を認定しています。補習は検定前や定期考査前を中心に実施しています。また、質問があればどの先生も必ず対応するようにしています。しかし、生徒にはまずは日頃の授業をしっかりと受け、わからない所は少しでも授業の中で解決する姿勢を大切にしてほしいと考えます。

Q 7 . 先生によってわからない授業があるようです。

A 7 . 学校教育自己診断では生徒からも分かりにくい授業があるという声が出ており、「わかりやすい授業」の創造に努めることが大きな課題だと考えています。授業改善の方法として、全教科対象の「授業アンケート」を年2回実施し、生徒の授業に対する意見を聞くことや「授業公開」によりお互いの授業方法を研究する等の取り組みを続けていきます。また、生徒の学習状況を見据えて、本校の生徒の課題に対応した授業づくりに努めていくことが必要だと考えています。

Q 8 . 建物の強度は大丈夫ですか。

A 8 . H19年度に岸和田市は、市立学校の全校舎のコンクリート強度調査を実施しました。産高の校舎は旧耐震基準（S55以前）と新耐震基準（S56以降）の両方あります。旧基準の古い建物も、特に緊急を要するものではないと思われませんが、旧基準の建物については、岸和田市の耐震化計画により10年以内に改築または補強が予定されています。他の小中学校の優先度もありますので、何年度かは確定していませんが、一部は早い時期に改築の可能性もあります。

以上、ご回答いたします。

学校長 久井 孝則